

東 風

第23号

平成18年 3 月

「教育研究所の一層の充実を目指して」 島尻教育研究所 所 長 金城 弘一
「キャリア教育を考える」 島尻地区校長会 小学校会長 比嘉 泰男

- ◇ 平成18年度事業計画
- ◇ 教育講演会「LD,ADHD, 高機能自閉症の理解と支援：月森久江」
- ◇ 公 開 授 業「発達障害の理解：月森久江」
- ◇ 園の課題解決へ -島尻地区幼稚園教頭・主任等研修会-
- ◇ 「しののめ教室」実践事例報告
- ◇ 研究報告島尻教育研究所 第23期教育 研究員
- ◇ 長期研修を終えて 第23期教育 研究員 委員長 宮国定明
- ◇ 教育実践に役立つ資料がいっぱい (H.16～H17購入 教育図書一覧)



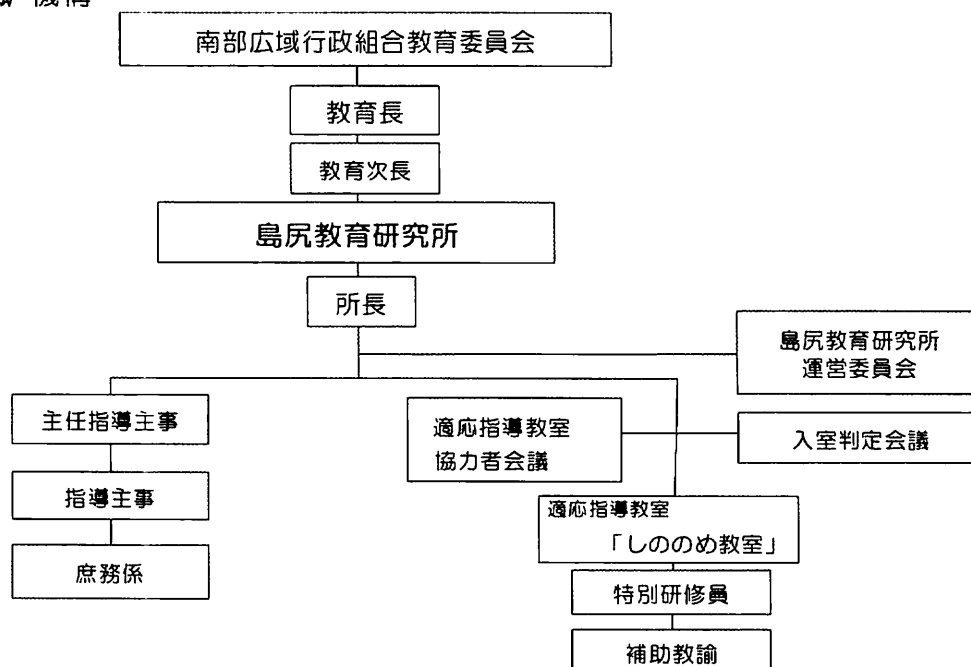
南 部 広 域 行 政 組 合
島 尻 教 育 研 究 所

● 設置の目的

教育に関する調査・研究及び教育関係職員の研修を行い、資料提供並びに教育相談等の事業を通して、島尻地区における教育研究の中核的存在とする。

● 組織

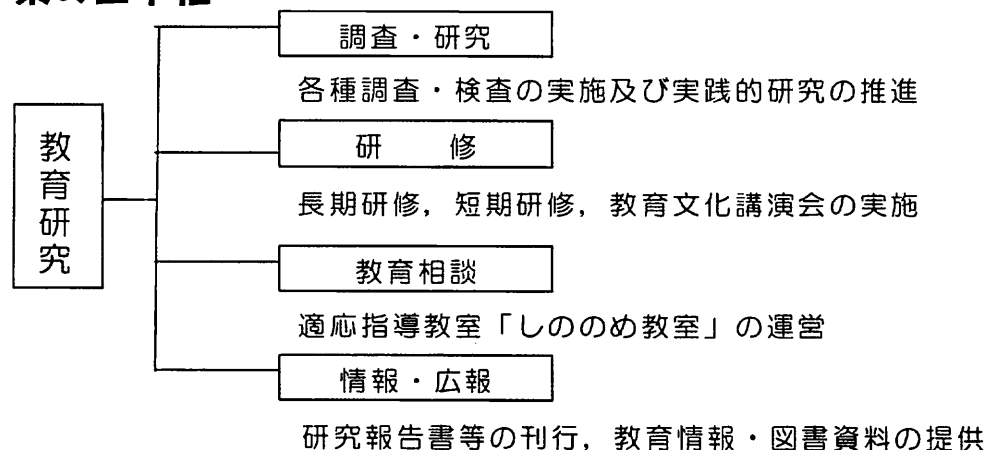
1 組織・機構



2 所員

所 長	金城 弘一	しののめ教室担当	
		特別研修員 補助教諭 補助教諭	大城 直樹 川平 美羽 玉城かぐや
主任指導主事	新垣千鶴子		
指導主事	甲斐 英児	庶 務	宮里 紀子

● 事業の四本柱



目 次

「教育研究所の一層の充実を目指して」	
島尻教育研究所 所長 金城 弘一	1
随想「キャリア教育を考える」	
島尻地区校長会小学校会長 比嘉 泰男	2
1 平成18年度 事業計画	3
2 「園の課題解決へ」ー島尻地区幼稚園教頭・主任等研修会	5
3 教育文化講演会「通常学級におけるLD, ADHD・高機能自閉症についての理解と支援の在り方」	6
4 公開授業「発達障害を持つ子の理解」	7
5 平成17年度「しののめ教室」実践報告 特別研修員 大 城 直 樹	8
6 第23期教育研究員テーマ等一覧	9
7 第23期教育研究員 研究報告	
(1)「友達とのかかわりを深めるための援助の工夫」	
糸満市立潮平幼稚園 教諭 金城 明 美	10
(2)「数学的な考え方を育てる指導の工夫」	
糸満市立米須小学校 教諭 佐久川かつ枝	11
(3)「道徳的価値の自覚を深める道徳の授業の工夫」	
糸満市立潮平小学校 教諭 玉那覇三千代	12
(4)「通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童への指導」	
豊見城市立上田小学校 教諭 宮 国 定 明	13
(5)「単学級におけるよりよい学級集団の育成」	
南城市立百名小学校 教諭 三 浦 リ カ	14
(6)「生活の中で自ら健康を考え、実践しようとする態度の育成」	
糸満市立潮平中学校 教諭 神 谷 公 子	15
(7)「やる気を持って学習活動に取り組む生徒を育てる学年経営」	
糸満市立高嶺中学校 教諭 垣 花 英 正	16
8 長期研修を終えて	
第23期教育研究員委員長 宮 国 定 明	17
9 教育実践に役立つ資料がいっぱいーH.16～H.17購入図書ー	18



教育研究所の一層の充実を目指して

島尻教育研究所 所長 金城 弘一

現行学習指導要領の学力観については、様々な議論が提起されている。大事なことは基礎的な知識技能を身につけさせ、それを活用して自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育成し、「生きる力」をはぐくむことである。

先般公表された国立教育政策研究所の教育課程実施状況調査によると、「学校現場における基礎的事項を徹底する努力等により、学力向上に向けての一定の成果が現れ始めている。学習意欲、学習習慣などは若干の改善は見られるが引き続き課題がある。」との結果を得ている。

教師は常に、教育課題に対峙し、指導力や資質能力を高めるための研鑽が求められる。そのため当教育研究所は、今日的な教育課題や時代の要請に対応すべく研究員の資質能力の向上や各種研修会等の研究・研修事業の充実を目指して推進してきた。そこで本年度の事業の取り組みから事例を上げて紹介してみたい。

事例1 長期研究員研修の充実

本年度から琉球大学大学院との連携によって教育研究委員の研究がより客観的になった。大学には、研究仮説に関する事前・事後の調査データの統計処理を依頼した。

児童・生徒の実態に関する事前アンケートを統計処理することにより、テーマ追究のための課題が客観的根拠に基づき明確になり、効率的な指導ができるようになった。また、事後のアンケートを統計処理することにより、事前と事後の調査結果を比較し、指導の成果が単なる偶然としての成果ではなく、課題に対応した指導の成果であることを客観的根拠をもって示すことができたようになった。

事例2 短期研修、幼稚園教頭・主任等研修会の充実

短期研修は、教育現場の今日的な課題やニーズに応えることをふまえ、「幼稚園教育」と「コンピュータ実技研修」をそれぞれ2日間実施し、延べ350人の受講者を得た。

「幼稚園教育」では「絵本」をキーワードに、絵本で育てる言語能力や論理的思考について大学教授による講話、元幼稚園教諭による幼児の創造性と表現力を育てる絵本作りの実習などを行った。また、「コンピュータ実技研」では、初級、中級のコースを設け、簡単な文書作成から高度な教材作成まで、受講者の技能に応じたプログラムを組んだ。

「幼稚園教頭・主任等研修会」では、島尻管内の園長はもちろん管外からも指導助言者を要請し、広い視野に立って「教育活動の自己点検・評価、公開・公表」について研究協議を深めた。また、教育事務所幼稚園担当主事による研修の総括によって研修の意義が確認できた。

事例3 情報・広報の工夫

教育研究所の重要な役割の一つに、学校現場への教育情報や資料の提供がある。そこで、教育研究所の事業内容やサポート体制を周知する目的で「先生の困った！をサポートします」のポスターを作成し、管内の教育委員会および幼小中学校へ配布した。

ポスターでは、教育研究所の業務内容をわかりやすく示すため、(1)教育資料の提供（広報・情報事業）、(2)長期・短期研修の実施（研修事業）(3)不登校児童生徒への対応（教育相談事業）について紹介した。

その結果、資料の貸し出し冊数の急速な伸び、長期・短期研修への応募者の増加、適応指導教室入室児童生徒の増加が顕著にみられるなど、大きな効果をもたらし、学校現場の実践や教育課題解決に役立っている。

今後とも、「教育研究所の在り方」を常に追究し、学校への支援・サポート体制を図る上から教育研究所事業の充実に努力を続けたい。



「キャリア教育」を考える

島尻地区校長会小学校会長 比嘉 泰 男

最近の若者人口に対するフリーターの増加問題、ニート問題、失業率の増加、早期離退職、勤労意欲や職業意識の低下などの社会問題化を背景に動き出したキャリア教育。今、全国の義務教育諸学校でもかなり拡充してきているが、平成11年の中教審答申で示されたキャリア教育の定義をここで再確認する必要がある。その経緯を調べてみる。

○平成11年12月の中教審答申「今後の初等中等教育と高等教育との接続の改善について」が、キャリア教育のスタートである。この答申では、「望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせると同時に、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力、態度を育てる教育」が提言された。ここで、キャリア教育という文言が初めて使われた。

○平成13年8月、文科省内にキャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議が発足した。

○平成14年11月、国立教育政策研究所が、児童・生徒の職業観、勤労観を育む教育の推進について、小中高一貫した系統的な学習プログラムの開発等についてまとめた調査研究報告書を公表した。

○平成15年6月、文科省大臣、厚生労働省大臣、経済産業省大臣及び経済財政政策担当大臣の4大臣で構成される若者自立・挑戦戦略会議で「若者自立・挑戦プラン」を取りまとめた。

○平成16年1月、文科省は、初等中等教育におけるキャリア教育の基本的な方向等について、今後キャリア教育を具体的に推進する観点から、キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書を公表した。その中で、小学校から段階的に発達する様相と社会の今後の在り方をとらえた4つの能力領域として、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意志決定能力」を挙げた。また、同年6月には「若者自立・挑戦プランの強化の基本的方向」を、12月に、「若者自立・挑戦のためのアクションプラン」を取りまとめた。ここでは、小中高校において、関係省庁が密接に連携し、産業界の最大限の協力を得つつ、中学校を中心に5日間の職場体験の実施などを通じ、学校段階からキャリア教育を推進するとともに、関係機関等の連携・協力による支援システムづくりに取り組むこととした。

○平成17年、新キャリア教育プラン推進事業を実施。

これらの提言・報告書等を受けて、全国的にキャリア教育が拡充してきた。キャリア教育は児童・生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育である。また、身の回りにある仕事や職場見学、地域ボランティア活動、各学校で実践している奉仕活動・体験活動などがキャリア教育である。

キャリア教育に関する法令条項として、「学校教育法第18条の2にある児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など、社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実にも努めるものとする」に明記され、小学校学習指導要領総則第1章第5の2(2)に「体験的・問題解決的な学習及び自立的、自発的な学習の促進」もあり、特別活動第2内容D学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事などもある。

そこで、キャリア教育を「生きる力を育む基礎・基本」「自分さがしの旅の準備教育」ととらえることができよう。このように考えると小学校では、全教育活動でキャリア教育を実施することが出来、小学校はキャリア教育の宝庫であると言っても過言ではないと思う。キャリア教育を小学校の段階から実施する糸口が、体験活動であると結論づけられている。文科省から平成14年10月に発刊された「体験活動事例集～豊かな体験活動の推進のために～」にある体験活動の類型では、次の7つの事例をあげている。今後の体験活動の参考になるものと考え。

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ① ボランティア活動など社会奉仕に関わる体験活動 | ② 自然に関わる体験活動 |
| ③ 勤労生産に関わる体験活動 | ④ 職場や就業に関わる体験活動 |
| ⑤ 文化や芸術に関わる体験活動 | ⑥ 交流に関わる体験活動 |
| ⑦ 公民館等での合宿通学など、その他の体験活動 | |

学校現場も目的を同じくする各種団体と連携・融合を図って、キャリア教育の基盤となる体験活動の充実頑張っていかなければならないと思うこの頃である。

平成18年度 事業計画

【前期】

H.18.2月現在

月	日	曜日	行 事 名
4	3	月	南部広域行政組合辞令交付式
	4	火	前期（第24期）教育研究員入所式15:30-, 指導講師委嘱状交付式
	26	水	研究計画検討会
5	2	火	「しののめ教室」入室希望者〆切（教育委員会）
	9	火	「しののめ教室」入室希望者〆切（教育研究所）
6	5	月	理論研究検討会（～7日）
	16	金	短期研修申込〆切（教育委員会）
	22	木	短期研修申込〆切（教育研究所）
	30	金	短期研修受講者決定通知発送
7	6	木	前期教育研究員 検証授業開始（～14日）
	24	月	短期研修「幼稚園教育」（～25日）
	26	水	幼稚園教頭・主任等研修会運営要領説明会
	27	木	短期研修「小中コンピュータ実技研修」（～28日）
	31	月	短期研修「幼稚園コンピュータ実技研修」（～8/1日）
8	4	金	幼稚園教頭・主任等研修会（終日）
	11	金	第2回入室児童生徒募集要項発送
	16	水	研究報告書検討会（～18日）
	25	金	第3回 長期研修 修了者「東雲の会」（15:30-）
9	20	水	研究報告会（14:30-） 後期研究員リエンション
	22	金	「しののめ教室」第2回入室希望者〆切（教育委員会）
	27	水	「しののめ教室」第2回入室希望者〆切（教育研究所）
	27	水	第24期教育研究員修了式（15:30-）、第2回運営委員会（14:00-）
	29	金	第24期教育研究員退所

【後期】

月	日	曜	行 事 名
10	2	月	後期（第25期）教育研究員入所式15:00-, 指導講師委嘱状交付式
	5	木	平成19年度教育研究員募集要項等発送
	18	水	「しののめ教室」第2回 入室式
	25	水	研究計画検討会
11	6	月	平成19年度教育研究員申込〆切（教育委員会）
	13	月	平成19年度教育研究員申込〆切（教育研究所）
	14	火	教育文化講演会
	15	水	公開授業
12	4	月	理論研究内容検討会（～6日）
1	10	水	指導案検討会（～11日）
	16	火	検証授業開始（～24日）
2	21	水	研究報告書検討会（～23日）
3	2	金	平成18年度「しののめ教室」実践事例報告会
	20	火	研究報告会13:30- 平成19年度前期教育研究員リエンション
	27	火	第25期教育研究員修了式15:30-, 第3回運営委員会14:00-
	30	金	南部広域行政組合離任式、教育研究員退所

※ 行事の期日については、変更もありますのでご了承ください。

平成18年度 研修計画

島尻教育研究所

	研修名等	研修内容等	前 期	後 期
1	オリエンテーション	服務・行事について、情報検索	4/ 3	10/ 3
2	所 内 研 修 ①	所長講話「教師に求められるもの（仮題）」	4/ 3	10/ 2
3	所 内 研 修 ②	研究の進め方・研究計画検討会について	4/ 5	10/ 3
4	所 内 研 修 ③	次長講話「行政組合の組織・運営」	4/ 6	10/ 3
5	所 内 研 修 ④	教育長講話「未定」	4/ 7	10/ 4
6	所 内 研 修 ⑤	教育改革の動向	4/12	10/ 8
7	指導講師検討会①	研究計画検討会にむけて	4/19～	10/13～
8	研究計画検討会	研究テーマ、仮説、研究内容等の検討	4/26～	10/22
9	所 内 研 修 ⑥	カウンセリング・教育相談	4/28	11/10
10	所 内 研 修 ⑦	教育心理検査の活用	5/ 8	11/ 2
11	所 内 研 修 ⑧	進路指導	5/17	11/ 4
12	所 外 研 修 ①	特別支援教育体験研修	5/23	11/17～
13	指導講師検討会②	理論研究検討会にむけて	5/29～	11/24
14	理論研究検討会	理論研究の内容検討	6/ 5～	11/29
15	所 内 研 修 ⑨	授業設計・教育評価について	6/ 9	11/30
16	指導講師検討会③	指導案検討会にむけて	6/26～	1/31
17	指導案検討会	検証授業指導案の検討	7/ 3～	12/10～
18	検 証 授 業	検証授業の実施	7/ 6～	12/ 8
19	所 内 研 修 ⑩	書道	7/18	12/16～
20	所 内 研 修 ⑪	報告書のまとめ方	7/19	1/25
21	所 外 研 修 ②	環境学習	7/20	1/ 5
22	指導講師検討会④	報告書検討会にむけて	8/ 7～	12/24
23	報告書検討会	研究報告書の原稿検討	8/16～	1/26
24	所 外 研 修 ③	沖縄の歴史・文化	8/23	2/7～
25	所 内 研 修 ⑫	発表の技法について（プレゼンテーション）	8/28	2/16
26	所 内 研 修 ⑬	人権教育	8/31	2/25
27	指導講師検討会⑤	研究報告会にむけて	9/ 6～	2/28
28	報告会リハーサル	研究報告会リハーサル	9/13	3/9
29	研 究 報 告 会	研究成果の報告	9/20	2/15
30	所 外 研 修 ④	沖縄の自然（野鳥観察）	9/21	3/16
31	所 内 研 修 ⑭	宮城恒彦先生講話「未定」	9/22	3/18
32	所 内 研 修 ⑮	所長講話「研修の修了によせて（仮題）」	9/25	3/17

島尻地区 幼稚園教頭・主任等研修会 園の課題解決へ

今年で5回目を迎える幼稚園の教頭・主任等研修会は、幼稚園を運営する教頭・主任の指導力の向上と幼稚園の今日的課題の解決に向けて実施されています。

今回も、「幼稚園における自己点検・自己評価について」「園を運営する教頭の役割」について2日間にわたり研修を深めました。

分科会では島尻管内の園長先生4名と那覇・浦添地区から6名の指導助言者をお招きするとともに、全体会では島尻教育事務所の幼稚園教育担当指導主事に、2日間の研修を総括をしていただくなど、さらに充実した研修会になりました。

概 要

実施期日：平成17年11月1日（火）～2日（水）

実施場所：南部福祉総合センター1階ホール他

参加者：幼稚園教頭・主任37名指導助言者6名、園長4名、市町村指導主事9名

1日目

講 話：「幼稚園における自己点検・自己評価について」

－評価改善の視点をふまえて－

沖縄県立総合教育センター 指導主事 松田恵子

研究協議1：開かれた幼稚園作りの取組

－幼稚園における自己点検・自己評価について－

2日目

実践発表：「幼稚園を運営する教頭の役割」

－松川幼稚園主任としての実践－

前那覇市立松川幼稚園 主 任 前城富子

研究協議2：教頭として園の運営をどのようにすすめていくか

－課題解決に向けた今年度の工夫点や取組の成果－



講話：松田恵子指導主事



実践発表：前城富子先生



総括：大城譲次指導主事



分科会：4分科会で研究協議



指導助言：知念敏枝先生



全体会：幼稚園教頭・主任のみなさん

教育文化講演会



通常学級における LD・ADHD・高機能自閉症についての理解と支援の在り方

講師：月森久江先生

平成17年11月24日（木）に島尻教育研究所主催の教育文化講演会を、糸満市農村環境改善センターで開催しました。文部科学省によると「通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査（2002）」の結果、特別に支援が必要な児童生徒の割合は通常学級に約6%程度在籍している可能性があるとの報告しています。このような、現状を踏まえ、「通常学級における特別支援教育の在り方」について、この分野で著名な月森久江先生をお招きし、学級担任としてのかかわり方を具体的に学びました。

月森先生は現在、杉並区立中瀬中学校で教鞭を執られる傍ら、全国を飛び回り特別支援教育について講演をなさっています。著書も「教室で行う特別支援教育」をはじめ多数執筆しておられます。当日は、豊富な実践経験をもとに具体的な事例を紹介しながらわかりやすくお話していただき、会場に詰めかけた550人を超える参加者に、今後の特別支援教育の在り方について多くの示唆を与えてくださいました。



特別支援教育への関心の高さが伺えました



500人を超える参加者で、会場はいっぱい



今後の特別支援教育について熱く語る月森先生

お知らせ

教育講演会の模様は、ビデオテープとDVDで貸出ができます。

これまでの教育講演会のものも保管してありますので、ご利用の方は下記まで、お気軽に連絡してください。

TEL：998-9561 島尻教育研究所

公開授業 発達障害を持つ子の理解

150名が授業参観

平成17年11月25日(金)
東風平中学校2年7組
授業者 月森久江先生

教育講演会の翌日には、東風平町立東風平中学校体育館において、2年7組の生徒に対し「発達障害を持つ子の理解」のテーマで公開授業を実施しました。平日の午後からの授業でしたが、近隣の小中学校の職員を中心に約150人が授業を参観しました。

月森先生は、ご自身の勤務する杉並区立中瀬中学校に設置されている、特別支援教育のための通級学級の様子をビデオで紹介したり、生徒や参観者に様々なワークシートをさせて具体的な「ちがい」に気づかせるなど、発達障害の意味をわかりやすく説明しました。

今回の授業を通して「発達障害の理解は、一人一人がそれぞれに違うことを認知すること」を身をもって理解することができました。

授業後の参加者は、「昨日の講演の内容と今回の公開授業を通して、発達障害についての理解が深まり、自分の学級にいる子への具体的な対応の仕方が見えてきた。」という感想を述べていました。今回の月森先生をお招きしての講演会と公開授業が教育現場の課題解決に役立つことを期待しております。



【生徒の反応を見ながら丁寧に指導】



【他者理解は、自分を知ることから】



【先生の話に生徒の顔も真剣です。】



公開授業に協力してくれた東風平中学校2年7組の皆さん



【150人を超える参加者の皆さん】

平成17年度「しののめ教室」実践報告

～沖縄県スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業(SSN)委託研究～



特別研修員 大城 直樹

(1) 研究の概要

研究テーマを「心因性不登校児童生徒の自立をめざした適応指導」と設定し、重点課題を次の3つに絞り研究を進めた。

- (1) 集団適応指導と個別適応指導の工夫
 - ① 体験活動：自然体験活動，制作活動，勤労・奉仕的活動，他
 - ② 学習活動：漢検・英検の取り組み，コンピューター学習
 - ③ 教育相談：定期相談，日誌の活用
- (2) 家庭，学校，教育委員会，その他関係機関との連係の工夫
- (3) SSN整備事業の充実

(2) 援助指導の実際

適応指導として，段階的援助指導のめやすを作成し，一人のできる活動→気の合う人との活動→集団のできる活動→チャレンジする活動と段階的に行った。また，それぞれの段階では適宜教育相談を行い，個々の状態を把握しながら取り組んだ。

関係機関との連携として，「しののめだより」の発行，学級担任会議の開催，学校訪問，家庭訪問，ケース会議の実施等，「しののめ教室」の情報を提供することと「しののめ教室」に足を運んでもらうことを中心に行った。

スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業(SSN)として，島尻教育事務所管内の適応指導教室連絡会，児童生徒支援加配等研修会，カウンセリング実践講座，心因性不登校児童生徒保護者相互支援の会の4つの事業を行い，ネットワークの構築を図った。

(3) 児童生徒の変容

- ・児童生徒が自ら「気づく」→「考える」→「決める」→「行動する」というプロセスを積み上げる中で自立への力が育ってきた。
- ・児童生徒のリソース(資質・資源)を生かし「好きなこと」「できていること」に焦点を当て，それを拡大することによって自己肯定感を高め，自立への力が育ってきた。

(4) 成果と課題

- ①さまざまな体験活動により，子ども本来の活動意欲が刺激され，心的エネルギーが高まった。また，多くの人との関わりで人間関係スキルを身につけることができた。
- ②一人一人状態が同じではないので，不登校の態様に応じて個への関わり方を工夫していく必要がある。また，関係機関との相互連携の効果的なあり方をさらに研究していく必要がある。

平成17年度【後期】第23期教育研究員テーマ・指導講師一覧

	教育研究員	研究領域	研究テーマ	指導講師
1	潮平幼稚園 金城 明美	幼稚園 教育	友達とのかかわりを深めるための援助の工夫 －自己発揮と自己抑制を促す援助を通して－	前とよみ幼稚園 教頭 名嘉元 美佐子
2	米須小学校 佐久川 かつ枝	小学校 算数	数学的な考え方を育てる指導の工夫 －算数的活動と学び合いの場の設定を通して(2年「かけ算(2)」)－	大里南小学校 教頭 照屋 静江
3	潮平小学校 玉那覇 三千代	小学校 道徳	道徳的価値の自覚を深める道徳の授業の工夫 －体験を生かして道徳的価値形成を図る指導－	島尻教育研究所 主任指導 新垣 千鶴子
4	上田小学校 宮国 定明	小学校 特別支援	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童への指導 －個別の指導計画の作成とチームによる支援を通して－	長嶺小学校 教諭 新垣 香代子
5	百名小学校 三浦 リカ	小学校 教育相談	単学級におけるよりよい学級集団の育成 －リレーションの確立とマナーの確立を通して－	白川小学校 教諭 崎原 貴子
6	潮平中学校 神谷 公子	中学校 保健体育	生活の中で自ら健康を考え、実践しようとする態度の育成 －選択教科における課題学習を通して－	島尻教育事務所 指導主事 大城 譲次
7	高嶺中学校 垣花 英正	中学校 学年経営	やる気を持って学習活動に取り組む生徒を育てる学年経営 －目標設定の指導と学年の協働支援を通して－	潮平小学校 校長 糸満 旦男

友達とのかかわりを深めるための援助の工夫

－ 自己発揮と自己抑制を促す援助を通して －



糸満市立潮平幼稚園教諭 金城 明 美

(1) 研究の概要

友達とのかかわりを深めるため、自己制御尺度(自己主張・自己抑制の項目)を基に、自己発揮と自己抑制を促す援助の工夫を行った。

(2) 指導上の工夫点

- ① 友達とのかかわりが少ない幼児が自己発揮できるような援助の工夫をする。
 - ・ 幼児一人一人に合った言葉かけをし、自信をもって遊べるようにする。
 - ・ 思っていることが言えるように代弁しながら、できるだけ自分で言えるようにする。
- ② 自己主張の強い幼児が、自己抑制しながら自己発揮できるような援助の工夫をする。
 - ・ それぞれの気持ちを受け止め、お互いの思いを言葉で伝えられるように状況づくりをする
 - ・ 一緒にかかわりながら、自分の気持ちを伝え、相手の思いにも気付けるようにする。

(3) 保育の実際



【友達とすごろく遊びを楽しむ】



【こまの紐の巻き方を教え合う】

(4) 幼児の変容

- ① 友達とこま回し競争をしたり、紐の巻き方を教え合ったり、思いを伝え合いながら遊ぶ等自己発揮する姿が見られた。
- ② こま回し、かるた取り、すごろく遊びで自分の考えを伝えたり、友達のを聞いたりする等、自己抑制しながら自己発揮して遊ぶ姿が見られた。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 友達とのかかわりの少ない幼児が、教師や友達に自分の思いや要求を言葉で伝えられる等自己発揮できるようになり、そのことで自信をもって友達とかかわって遊べるようになった。
- ② 自己主張の強い幼児が、自己抑制しながら自己発揮できるようになり、友達の話も聞き、決まりを守って遊べるようになった。
- ③ 幼児一人一人の発達を捉え、幼児理解を深め適切な援助ができるようなチーム保育の工夫をする。

※ 詳細は平成17年度 研究報告書第23号P1～P10に掲載

数学的な考え方を育てる指導の工夫

—算数的活動と学び合いの場の設定を通して（2年「かけ算（2）」—



糸満市立米須小学校教諭 佐久川 かつ枝

(1) 研究の概要

2年「かけ算（2）」の単元の指導において、算数的活動と学び合いの場の設定を通して数学的な考え方を育てる指導の工夫を行った。

(2) 指導上の工夫

数学的な考え方を育てるために問題解決的な学習を取り入れ、筋道を立てて考える段階で算数的活動と学び合いの場を設ける指導の工夫を行った。

① 算数的活動を取り入れる工夫

- ・見通しをしっかりとらせて算数的活動に取り組ませ、自力解決をさせて多様な見方、考え方を引き出す。

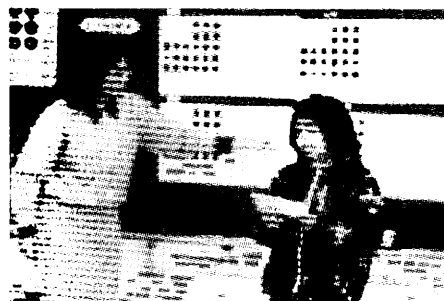
② 学び合いの場を設ける工夫

- ・学び合いの場を設け、みんなで考えを出し合い、解決方法や考え方のよさ、友達の考えのよさなどに気付かせる。

(3) 指導の実際



【アレイ図を操作する算数的活動の様子】



【学び合いの場での発表の様子】

(4) 児童の変容

- ① 算数的活動を通して、自力解決することにより、多様な見方、考え方ができるようになり、方法や内容に関する数学的な考え方ができるようになった。
- ② 学び合いの場を設けたことにより、自他の考え方のよさや九九を使うことのよさ、解決方法のよさ等に気付き、よりよいものを求めようとする数学的な態度が育ってきた。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 「かけ算（2）」の指導において算数的活動と学び合いの場を設定したことにより児童に数学的な考え方を育てることができた。
- ② 児童の多様な解決方法に対応できる算数的活動の工夫

※ 詳細は平成17年度 研究報告書第23号P11～P20に掲載



道徳的価値の自覚を深める道徳の授業の工夫

—体験を生かして道徳的価値形成を図る指導—

糸満市立潮平小学校教諭 玉那覇 三千代

(1) 研究の概要

道徳の時間において、体験を生かして道徳的価値形成を図る指導を通して、道徳的価値の自覚を深める授業の工夫を行った。

(2) 指導上の工夫点

道徳的価値の自覚を深めるために、体験を生かして道徳的価値の自覚を図る指導の工夫を行った。

- ① 「導入」で、自己の道徳的問題に気付かせる工夫
 - ・事前に本時で指導する内容（価値）に関する体験を書かせたワークシートを活用する。
- ② 「展開前段」で自分のこととして道徳的価値について深く考えさせる工夫
 - ・葛藤場面を設定し、「話し合い」を取り入れる。
- ③ 「展開後段」で、道徳的価値を主体的に自覚させるための工夫
 - ・改めて自己の道徳的問題を内省し、深められた価値を生活の中でどう生かしていくかをワークシートに書かせる。
- ④ 「終末」で、道徳的価値に対する実践意欲を高めさせる工夫
 - ・感動体験を取り入れる。

(3) 指導の実際



【展開前段での話し合い】



【ウミガメに触れる感動体験】

(4) 児童の変容

- ① 自己の体験を基に、自分とのかかわりで問題意識を持つことができた。
- ② 自己の問題として「自分だったらどうするか」を考え、正しく強く生きようと主体的に考えるようになった。
- ③ これまでの自分を見つめ直し、深められた価値をこれから生活の中でどう生かしていくかを考えるようになった。
- ④ 感動性に触れる事で、道徳的価値を深く心に受け止め、実践への意欲が見られた。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 体験を生かした道徳的価値形成を図る指導を行うことで、児童が道徳的価値の自覚を深めることができた。
- ② 児童の体験を生かした自作資料の作成と「展開」での有効な人材活用のしかた

※詳細は平成17年度 研究報告書第23号P21～P30に掲載

<小学校 特別支援教育教育>

通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童への支援

－ 個別の指導計画の作成とチームによる支援を通して －



豊見城市立上田小学校教諭 宮国 定明

(1) 研究の概要

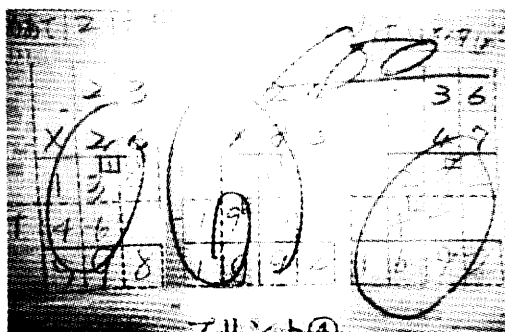
特別な支援を必要とする児童への支援として、チーム支援会議を立ち上げ個別の指導計画を作成しチーム一丸となって指導に当たった。

(2) 指導上の工夫点

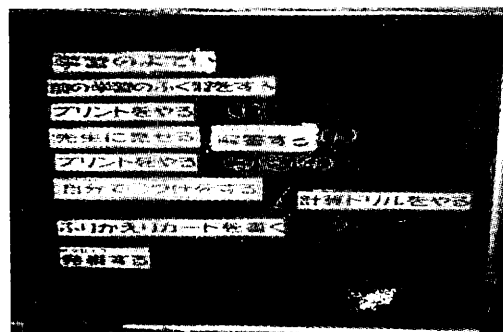
学習への適応、学級集団への適応を図るために、次のような配慮や指導を行った。

- ① 児童や学級の実態、変容を見るためにQ-Uアンケートを行った。
- ② 一斉指導の中での個別の指導計画、チーム支援による個別の指導計画、教科・領域を横断した個別の指導計画を作成し支援に当たった。
- ③ 学習に集中して意欲的に取り組めるように、また対人関係を良好に築けるようにソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンターを活用した。

(3) 指導の実際



【線り上がり枠を設けたワークシート】



【見通しを持つために授業の流れを確認】

(4) 児童の変容

- ① 対象児は、Q-Uアンケートの結果をみると、学級不満足群から学級満足群へ移動した。
- ② Q-Uアンケートの学校生活意欲度を事前、事後で比較すると「友達関係」が9点から12点「学習意欲が」8点から12点「学級の雰囲気」が5点から12点にそれぞれあがった。
- ③ 長期目標、短期目標共にほぼ達成し、自己有能感が高まり、学校生活に適応している。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 児童の実態を把握し、個別の指導計画を作成することにより児童のニーズに応じた支援ができた。
- ② 個別の指導計画をもとにチームで細やかな幅広い支援をすることにより、児童の学習意欲が高まり、自己有能感が育ってきた。
- ③ 特別支援教育の視点に沿って指導をすることにより学級集団としての雰囲気が良くなり、学習意欲も高まってきた。
- ④ 一斉指導の時間において、他の児童への個別指導の時間の確保。
- ⑤ 他の特別な支援を必要とする児童への全校体制での取り組みと、外部機関との連携。

※ 詳細は平成17年度 研究報告書第22号 P31～P40に掲載

単学級におけるよりよい学級集団の育成

－ リレーションの確立とルールの確立を通して －



南城市立百名小学校教諭 三浦 リカ

(1) 研究の概要

単学級におけるよりよい学級集団の育成を図るためには、リレーションとルールを確立することが望ましい。そこで、構成的グループエンカウンターとソーシャルスキルトレーニングを手法として取り入れた授業実践を行った。

(2) 指導上の工夫点

単学級におけるよりよい学級集団の育成のために次のような工夫を行った。

- ① リレーションの確立を図るための工夫
 - ・ 構成的グループエンカウンターの「自己理解」「他者理解」「信頼体験」をねらいとするエクササイズを導入
 - ・ 朝の会や帰りの会でのショートエクササイズを導入
- ② ルールの確立を図るための工夫
 - ・ ソーシャルスキルトレーニングの友情形成スキルを導入

(3) 指導の実際



【友達のよさをカードに書いている様子】



【カードをもらって、うれしそうな様子】

(4) 児童の変容

- ① リレーションが確立されることで、交友関係に広がりが見られ、児童間の温かな交流が盛んとなった。
- ② 友情形成スキルを習得したことで、児童自ら積極的に集団へ働きかけられるようになり、対人関係を広げるために必要なルールが身に付いた。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 意図的・計画的に構成的グループエンカウンターとソーシャルスキルトレーニングを実践することで、交友関係に広がりが見られ、単学級におけるよりよい学級集団の育成が図れた。
- ② 朝の会や帰りの会でショートエクササイズを実践することで、短期間で児童間の交流が図れた。
- ③ 個別的な支援が必要な児童への援助を工夫する必要がある。

※詳細は平成17年度 研究報告書第23号 P41～P50に掲載

生活の中で自ら健康を考え、実践しようとする態度の育成

－ 選択教科における課題学習を通して －



糸満市立潮平中学校教諭 神谷 公子

(1) 研究の概要

選択教科における課題学習において、「課題意識を高める工夫」「生活の中で実践化するための工夫」「健康的な生活の良さを実感させる工夫」を通して、生活の中で自ら健康を考え、実践しようとする態度を育成した。

(2) 指導上の工夫点

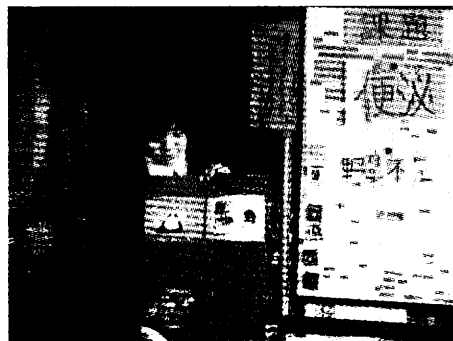
課題意識を高め、健康的な生活の良さに気付かせるために次のような工夫を行った

- ① 課題意識を高める工夫
 - ・ ウェビングや一週間の生活チェックを行い、自己の生活を振り返る
- ② 生活の中で実践化するための工夫
 - ・ 追究して得た知識をもとに生活改善計画を立てる
- ③ 健康的な生活の良さを実感させる工夫
 - ・ 計画（生活改善計画）、実践（実行）、考察（計画の再検討）のプロセスを繰り返し行う

(3) 指導の実際



【生活改善計画の練り直し】



【実感した良さの発表】

(4) 生徒の変容

- ① 課題意識を高める工夫をすることで、生活を振り返り自己の課題に気付いた。
- ② 生活の中で実践化させる工夫をすることで、主体的に学習に取り組むようになった。
- ③ 健康的な生活の良さを実感させる工夫をすることで、健康についての意識が高まり、家族や友人にもアドバイスをするようになった。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 生活改善計画を実行させることで、健康的な生活の良さを実感し、自ら健康を考え実践しようとする態度が育った。
- ② 課題学習を取り入れることで、生徒が学習に主体的に取り組んだ。
- ③ 自らの健康のみでなく、家族の健康や協力にも気付いてきたので、今後は家族の協力も取り込んだ課題学習の実践を工夫したい。

※ 詳細は平成17年度 研究報告書第23号 P51～P60に掲載

やる気を持って学習活動に取り組む生徒を育てる学年経営

－ 目標設定用の指導と学年の協働支援を通して －



糸満市立高嶺中学校教諭 垣花 英正

(1) 研究の概要

やる気の要素である「自己決定感」、「自己有能感」、「他者受容感」を高めるために、メンタルトレーニングの手法を取り入れた目標設定の方法を指導し、その目標達成に向けて学年が協働して支援した。

(2) 指導上の工夫点

生徒がやる気を持って学習活動に取り組むように、次のような工夫を行った。

- ① 効果的な目標設定の方法を指導し、明確な目標と学習計画を立てさせた。
- ② 学年会において、生徒が設定した目標を学年教師が把握し、達成に向けての支援方法を確認した。
- ③ 頑張ればできる目標を立てさせ、達成感を味わわせた。
- ④ 朝の会や日々の授業など、様々な場面で学年教師が生徒へ声をかけ、目標達成に向けて激励した。

(3) 指導の実際



【目標を設定している様子】



【学年会にて生徒の目標を確認する】

(4) 生徒の変容

- ① 明確な目標と学習計画を立てることができた。
- ② 目標の達成感を味わった。
- ③ 周りの支援を感じるようになった。
- ④ 目標達成に向けて、意欲的に勉強するようになった。

(5) 研究の成果と今後の課題

- ① 生徒が目標を持つことの大切さを理解し、その達成に向けてやる気を高めることができた。
- ② 生徒の学習意欲を高めるといった共通の目標に向けて、学年の協働体制を整えることができた。
- ③ 家庭と学校が生徒の目標達成に向けて、連携して支援できた。
- ④ 学習以外の日常活動にもやる気を持って取り組ませる実践を工夫したい。

※ 詳細は平成17年度 研究報告書第23号P61～P70に掲載



長期研修を終えて

第23期教育研究員 委員長 宮国 定明

草木が萌ゆる躍動の春がやって参りました。そして、私たち後期教育研究員の修了の日も近づいて参りました。

思い起こせば今年の10月、期待と不安を胸に、私たち7名は、島尻教育研究所第23期生として入所して参りました。研究員一人一人の研究テーマは違いますが、教師としての資質・力量を高め、幼児児童生徒の心豊かで確かな学力の向上を目指し研修を深めたいという思いは一緒で、半年間互いに励まし合い、また切磋琢磨し合ってきました。年齢が近いということもあり何でも話し合える、笑いが絶えることのない仲間達でした。一番の思い出は、真っ赤に燃えるような紅葉に抱かれて、これからの教育者としての生き方について熱く語り合った県外研修です。

研究所の一週間は逍遙歌で始まり、「3分間スピーチ」や「大切な話」等があり、所長や主事の先生方、研究員の貴重な実践事例や体験などを聞き、学ぶべきことが多々ありました。

所内研修では、「今、教師に求められる資質能力」をテーマに金城所長より講話があり、教師としてのあるべき姿を教えて頂きました。玉寄次長の講話「組合の概要について」では、研究所が行政組合の多大な恩恵にあずかっているということがよく分かりました。また、「教師は子どもに対してマニフェストを持たないといけない」という言葉が印象に残っています。その他、「進路指導」「書道」「カウンセリング」「教育・心理検査」等、研修が計15回にわたってあり、これまでの教育活動を多角的に見つめることの大切さ、これからのすべきことは何かを示唆していただきました。

所外研修の、「特殊教育諸学校訪問」では、特別支援教育や個に応じたきめ細やかな配慮や指導の在り方を学ぶことができました。「環境学習」では、浦添市リサイクルプラザやクリーンセンターを見学し、ゴミ処理の過程を見てゴミを減らす工夫を改めて考えさせられました。「沖縄の歴史・文化」では、百名小学校の平良教頭先生に玉城に伝わる琉球開闢神話や稲作発祥伝説の由来の土地を案内してもらい悠久のロマンを感じることができました。さらに、これから開講される「沖縄の自然、野鳥の観察」を、楽しみにしています。

また、クラブ活動の時間もあり三線を習う機会にも恵まれました。「安波節」「安里屋ユンタ」等は私以外の研究員はみな弾けるようになりました。沖縄の伝統文化に親しむよい機会となりました。

このように多くの研修内容で、私たちの教師としての資質の向上に寄与してくださるご配慮に、感謝の思いが絶えません。検証授業や報告書のまとめ等、苦難の山を登はん中の時がほとんどでしたが、心身共に癒されるようでした。そして、毎日が充実した一日一日でした。これもひとえにいつも温かいご指導や激励をして下さった金城所長をはじめ、人として、教師としての生き方を教えて下さった新垣主任指導主事、パソコン操作や報告書の一文一句まで手取り足取り、事細かに指導して下さいました甲斐指導主事、そして、学校現場におられ多忙な中を親切丁寧に指導して下さいました指導講師の先生方の御陰であります。厚く御礼申し上げます。このご恩に報いるためにも、学校現場に戻りましたら幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズをしっかりと把握して、その子ども達全員が幸せになるために全力を挙げて支援に取り組んで参りたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な研修の機会を与えて下さった教育委員会、所属校の校長先生・園長先生をはじめ多くの先生方、そして関係各位の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

教育実践に役立つ資料がいっぱい!

当教育研究所では、教育現場で使える教育用図書の貸出しを行っています。毎年、100冊を超える最新図書の購入を進めており、蔵書も8000冊を超え、幼稚園、小学校、中学校のすべての校種に対応できるようになりました。今年度は、島尻管内の先生方を中心に、約200冊の利用がありました。

島尻管内の教職員であれば、簡単な手続きで最新の教育情報を得ることができますので、是非ご利用ください。利用方法については、末尾の「ご利用にあたって」をご覧ください。

(平成16～17年度 購入図書一覧)

教科等	書 名	著者発行所等
国 語	新しい国語科授業の実際 小学校4年 楽しく学ぶ「話し方・聞き方」ワーク 小学4年 子どもが輝く国語科授業 言語事項編 子どもが輝く国語科授業 読むこと編 子どもが輝く国語科授業 話すこと・聞くこと 「伝え合う力」を育てる基本話型一基本聴型ワーク 楽しく学ぶ「話し方・聞き方」ワーク 小学4年 喜びを子どもがつくる国語授業 6 豊かな話しことばを育てる 48 「伝え合う力」の育成と音声言語の重視 発信・受信双方向で「伝え合う力」を育てるワーク小学4年 「伝え合う力」の育成と音声言語の重視 生きる力を育てる国語科 伝え合う力を高める感想交流学习 国語科で育てる相互交流能力 小学校編 確かな国語力をつける授業モデル 「読むこと」編 音読指導の改革シリーズ 2 国語科の授業 低学年 表現よみ指導のアイデア集	小森 茂 瀬川榮志 成家亘宏 藤田慶三 中山厚子 瀬川榮志 瀬川榮志 石田佐久馬 石田佐久馬 小森茂 瀬川榮志 小森茂 多久市立南部小学校 村松賢一・花田修一 井上一郎 八戸音読研究の会 小森茂 荒木茂
社 会	中学校社会科のリニューアルと授業デザイン 「生きる力」を育てる社会科授業 社会科授業研究の理論 社会科固有の授業理論30の提言 学習技能の基礎・基本 教え方大辞典小5～小6 授業で“学び方技能”をどう育てるか 「考える子ども」を育てる社会科の学習技能 個を生かす社会科 「学習の複線化」事典 社会科「学ぶ力」を育てる授業づくり	澁澤文隆 北 俊夫 岩田一彦 岩田一彦 有田和正 谷 和樹 有田和正 北 俊夫 筑波大学付属小学校

	社会科教育のニュー・パースペクティブ 最新世界の地理 小学校社会科 指導と評価一体化の授業展開 中学校社会科 絶対評価の方法と実際	藤原久雄 川島孝郎 寺崎千秋 澁澤文隆
算数・数学	基礎基本の徹底と創造性を培う算数教育 小学校算数科 基礎・基本定着の指導技法 「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」の指導と評価はどうすれば成功するか 「算数」をさがしに行こう！ 数の悪魔 算数の感覚を伸ばす 計算の意味と計算法則を活用 数学的な考え方の具体化と指導 指導内容の体系化と評価 数学的な考え方の指導・評価の事例集1	伊藤説明 小島宏 新算数教育研究会 石原清貴 エンツェンスベルガー 新算数教育研究会 新算数教育研究会 片桐重男 片桐重男 片桐重男
英 語	「自己表現活動」を取り入れた英語授業 小学校英語活動実践の手引 実践的コミュニケーション能力のための英語のタスク活動と文法指導 「苦手」を「好き」に変える英語授業 日本における英語教育の研究 小学校英語教育A to Z キーポイント早わかりガイド	田中武夫・田中知聡 文部科学省 高島英幸 滝口 優 和田 稔 和田 稔
道徳教育	夢を育て実現させる30のいい話 ヒーローから生き方を学ぶ道徳授業 夢と希望を育てる生き方の教育 子どもに贈りたい120の言葉 新しい道徳教育の理念と方法 こうすれば心が育つ 総合ユニット方式による道徳学習 ハーバーマス 道徳の指導法 教育哲学のすすめ 新世紀・道徳教育の創造 豊かな心の教育への経営戦略 Q&A意識と行動の変化に着目した指導 Q&A心の教育を重視する学年・学級経営 個性尊重時代の「価値の教育」	百瀬昭次 向山洋一 内藤勇次 佐々木勝男 押谷由夫 金井 肇 押谷由夫 中岡成文 村田昇 山崎英則 林忠幸 七條正典 坂本昇一 坂本昇一 深谷昌志
総合的な学習	総合的学習の評価 総合的学習の基礎づくり4 「学び方を学ぶ」 中学校編 小学校生活科・総合的な学習 -基礎基本と学習指導の実際- 今日から始める小学校英語指導の基礎・基本	寺西和子 柴田義松 嶋野道弘 渡邊寛治

	発展的指導・補充的指導50のポイント 環境をテーマにした学習活動50のポイント 国際をテーマにした学習活動50のポイント 「総合的な学習」単元BEST50 「総合的な学習」評価のテクニックとプラン 「総合的な学習」のカリキュラムをつくる 「総合的な学習」の時間を弾力的に運用する 「総合的な学習」の多様な学習形態を工夫する 「総合的な学習」の指導体制をつくる 「総合的な学習」のための地域教材をつくる 「総合的な学習の時間」で基礎的素養を育む 「総合的な学習の時間」全課題徹底理解 「総合的な学習」の展開と技術 体験・ボランティア活動の考え方・進め方 情報教育の考え方・進め方 国際理解教育の考え方・進め方 環境教育の考え方・進め方	加藤幸次 鳩貝太郎 佐藤郡衛 今谷順重 奈須正裕 浅沼茂 吉崎静夫 平野朝久 高階玲治 今谷順重 山極隆 河野重男 奥田真丈 奥田真丈 奥田真丈 奥田真丈 奥田真丈
教育相談 カウンセリング	アサーショントレーニング 子どものためのアサーショングループワーク エビデンス・ベースト・カウンセリング カウンセリングで極める教師の技 第1巻 カウンセリングで極める教師の技 第3巻 カウンセリングで極める教師の技 第4巻 構成的グループ・エンカウンター 育てるカウンセリングによる教室課題対応全書 6 育てるカウンセリングによる教室課題対応全書 8 育てるカウンセリングによる教室課題対応全書 9 育てるカウンセリングによる教室課題対応全書 10 (実践)構成的グループエンカウンター 第4号 (実践)構成的グループエンカウンター 第5号 (実践)構成的グループエンカウンター 第6号 (実践)構成的グループエンカウンター 第7号 構成的グループエンカウンター ミニエクササイズ56選(小学校版) エンカウンター実践テスト 1号 エンカウンター実践テスト 2号	平木典子 園田雅代 内山喜久雄 斉藤優・諸富祥彦 諸富祥彦・明里康弘 浅井好・諸富祥彦 国分康孝 国分康孝・国分久子 国分康孝・国分久子 国分康孝・国分久子 国分康孝・国分久子 八巻寛治・吉澤克彦 八巻寛治・吉澤克彦 八巻寛治・吉澤克彦 八巻寛治・吉澤克彦 八巻寛治 八巻寛治・吉澤克彦 八巻寛治・吉澤克彦
特別支援	教室で行う特別支援教育 LD・ADHD特別支援マニュアル 通常の学級におけるAD／HDの指導 LD,ADHD, 高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の準備のためのガイドライン	国分康孝 森 孝一 全国情緒障害教育研究会 文部科学省

	小・中学校におけるLD、ADHD、高機能自閉症の子供への教育支援 特別支援教育ハンドブック LD・ADHD高機能自閉症児のコミュニケーション支援 特別支援教育 基本用語100 普通学級にいるアスペルガー症候群の子への指導 ADHD／LD指導の基礎基本 教室の障害児 第3号 教室の障害児 第6号 教室の障害児 第7号 特別支援教育 教え方教室 第10号 「特別支援教室」ライブラリー ② 自閉症の子への「学び」支援 教室で行う特別支援教育 学級担任の特別支援教育 応用行動分析で特別支援教育が変わる 教室でできる特別支援教育のアイデア(小学校編)	上野一彦 特別支援教育研究所 小林芳文・是枝喜代治 上野一彦・緒方明子他 小松裕明 横山浩之 向山洋一・大場龍男 向山洋一・大場龍男 向山洋一・大場龍男 向山洋一・大場龍男 北海道教育大附属養護学校 国分康孝・国分久子 河村茂雄 山本淳一・池田聡子 月森久江
幼稚園教育	新たな幼稚園教育の展開 幼稚園運営のポイントQ&A 幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集 自然と季節を楽しむ造形あそび 幼児理解と保育援助3 保育方法・指導法の研究6 保育内容「健康」7 保育内容「人間関係」8 保育内容「環境」9 保育内容「言葉」10 保育内容「表現」11 障害児保育 新しい保育の基本用語辞典 幼稚園教育の新たな展開 幼稚園・保育園での研究の進め方と実例 新しい幼児教育を学ぶ人のために 感性と表現に関する領域 表現 子どもから学ぶ保育活動「表現」 平成15年度 研究紀要 平成16年度 研究紀要 どの子も伸びる 幼児の学力 幼稚園辞典 幼児教育の明日を拓く 幼稚園経営 新たな幼稚園教育の展開	小田 豊 全国国公立幼稚園長会 文部科学省 豊泉尚美・松本のり子 森上史朗・浜口順子 森上史朗・渡辺英則 杉原 隆・柴崎正行 森上史朗・吉村真理子 柴崎正行・田中泰行 高杉自子・柴崎正行 黒川建一 大場幸夫・柴崎正行 柴崎正行・綱野武博 無藤 隆・神長美津子 民秋 言 岩田純一 阿部明子・竹林実紀子 玉井美知子 全国幼稚園教育研究協議会 全国幼稚園教育研究協議会 岸本裕史 幼少年教育研究所 伊藤良高 小田豊・神長美津子
学習指導法	問題解決学習のストラテジー 楽しい「授業づくり」入門	藤井千春 家本芳郎

	習熟度別指導の基礎・基本 少人数指導 習熟度別指導 中学校 個に応じる少人数指導 習熟度別指導・少人数指導を成功させる40のポイント 誰もが活用したい「確かな学力の形成」100の実践ポイント 発展的学習の指導の手引き 自ら学ぶ意欲を育む先生 学びの支援の上手な先生 どの子も伸ばす学力づくり どの子も伸びる見えない学力 授業の技を極める40のコツ 子どもに確かな学力を育てる 多様化へ対応する授業 確かな学力向上のための指導PDCA ストレスに負けないところを育てる学校の取り組み 「個に応じた指導」を実践から学ぶ 社会を生き抜く力を育てる“お金と仕事”の学習 今日から始める「確かな学力」指導の基礎・基本 今日から始める習熟度別指導の基礎・基本 誰もが活用したい「確かな学力の形成」100の実践ポイント 今日から始める奉仕・体験活動の基礎・基本 習熟度別指導・少人数指導を成功させる40のポイント 多様な指導方法への経営戦略 社会体験・自然体験の指導テクニックとプラン 時間割編成のテクニックとプラン 調べ学習・まとめ・発表の指導テクニックとプラン 観察・実験・見学・調査活動の指導テクニックとプラン 小学校英会話指導のテクニックとプラン 「自ら学び・考える力の育成」全課題徹底理解 「生きる力」100の課題徹底理解 学習のネットワーク化 ティーム・ティーチングの技術	工藤文三 加藤幸次 浅沼茂・松本光弘 浅沼 茂 高階玲治 高階玲治 桜井茂男 加藤幸次 岸本裕史 岸本裕史 諸富祥彦・齋藤優 奈須正裕 加藤幸次・河合剛英 高階玲治 伊藤美奈子 工藤文三 魚住忠久 高階玲治 工藤文三 高階玲治 宮川八岐 浅沼茂 吉崎静夫 工藤文三 加藤幸次 今谷順重 佐島群巳 渡邊寛治 梶田正巳 高階玲治 新井郁男 加藤幸次
教育評価	確かな力を育てるポートフォリオ評価の方法と実践 これでできる！！ポートフォリオ実践戦略 自己評価活動が学校をかえる 心理学マニュアル 質問紙法 S-P表分析の活用事例 「学習指導・評価」実践チェックリスト 絶対評価への挑戦 8 今日から始める絶対評価の基礎・基本 新しい教育評価への経営戦略	寺西和子 鈴木敏恵 古川 治 鎌原雅彦・宮下一博他 佐藤隆博 木原俊行 瀬川榮志 佐藤真 工藤文三

	評価基準の設定と運用法50のポイント	奈須正裕
生徒指導	夢を絶対に実現させる方法 成功の教科書 自己指導力・社会性を育てる生徒指導のPDCA 新しい生徒指導への経営戦略 「暴力・非行」指導の手引き 「いじめ」指導の手引き 生徒指導・進路指導 教師のためのカウンセリング技術 登校拒否指導マニュアル いじめ指導マニュアル	原田隆史 原田隆史 尾木和英 宮川八岐 松原達哉 松原達哉 高階玲治 松原達哉 坂本昇一 坂本昇一
事務処理	公用文用字用語の要点 沖縄県教育関係職員必携17 文書と手紙の書き方 文書・手紙の書き方 お礼と感謝の手紙 解説 教育六法 2005 完全制覇パーフェクトExcel 2003 完全制覇パーフェクトPower Point 2003 完全制覇パーフェクトWord 2003	廣瀬菊雄 中川越 飯田稔 青木一男 三省堂 翔泳社 翔泳社 翔泳社
辞典	教育用語辞典 教育用語辞典 (現代) 英語教育用語辞典	山崎英則・片上宗二 中谷彪・波本勝年 白畑知彦・富田祐一他
学校経営	カリキュラム評価の考え方・進め方 学校を活性化する組織マネジメント 職員会議・各種委員会を成功させる40のポイント 学校の組織・運営 学習環境の創造 自主・自律の時代の校長・教頭・教職員 自主・自律の時代の学校 「特色ある教育活動と学校経営」全課題徹底理解 多様化への転換 教育内容のスリム化 変化の時代の学校経営 5日制学校経営の組織と運営 指導力不足教員への経営戦略 学校における「情報提供」と「外部評価」の進め方 学校の自己点検・評価事例集 学校の組織設計と協働態勢づくり	田中統治 葉養正明 高階玲治 高階玲治 加藤幸次・佐久間茂和 高倉翔 高倉翔 河野重男 新井郁男 新井郁男 菱村幸彦 教育開発研究所 教育開発研究所 教育開発研究所 教育開発研究所 教育開発研究所

	新教育課程下の学校経営 No.4 新教育課程下の学校経営 No.6 管理職のための“学校改革”プロジェクト 5巻 職員会議・各種委員会を成功させる40のポイント 学校・家庭・地域がともに進める学力づくり 「外部人材の活用」を実践から学ぶ 学校と地域の新しい関係づくり 地域住民の学校運営への参画 Q&A学校・家庭・地域一体による指導 保護者と教師の新しい関係づくり 「自己点検・自己評価」を実践から学ぶ 学校における「情報提供」と「外部評価」の進め方 学校の自己点検・評価事例集 学校の評価活動 学校の危機管理への経営戦略 子どもの安全と危機管理 事件・事故を回避する50のポイント	高階玲治 佐野全吾 葉養正明 高階玲治 佐藤晴雄 今谷順重 葉養正明 小島弘道 坂本昇一 新井郁男 尾木和英 小島弘道 八尾坂修 佐野金吾 天笠茂 学校安全対策研究会 下村哲夫
教育課程 学習指導要領	学習指導要領解説(小学校) 総則編 解説 音楽編 解説 図画工作編 解説 生活編 解説 理科編 解説 算数編 細説 国語編 解説 体育編 解説 道德編 解説 特別活動編 解説 社会編 解説 家庭編 学習指導要領(中学校) 解説 総則編 解説 社会編 解説 国語編 解説 保健体育編 解説 外国語編 解説 技術・家庭編 解説 美術編	文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部省 文部省 文部省 文部省 文部省 文部省 文部省 文部省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部省 文部省 文部省

	解説 道徳編	文部省
	解説 音楽編	文部省
	解説 理科編	文部省
	解説 数学編	文部省
	解説 特別活動編	文部省
	改訂学習指導要領全文と要点解説	
	小学校学習指導要領解説 算数編	文部省
	小学校学習指導要領解説 理科編	文部省
	小学校学習指導要領解説 生活編	文部省
	小学校学習指導要領解説 音楽編	文部省
	小学校学習指導要領解説 図工編	文部省
	小学校学習指導要領解説 家庭編	文部省
	小学校学習指導要領解説 体育編	文部省
	小学校学習指導要領解説 道徳編	文部省
	小学校学習指導要領解説 特活編	文部省
	確かな学力を育てるカリキュラム・マネジメント	田中統治
	自校の特色を生かした教育課程のPDCA	高階玲治
	「指導時間の確保・運用」を実践から学ぶ	高階玲治
	改訂学習指導要領全文と要点解説	
	創意を生かす新教育課程の編成・実施・評価	高倉翔・尾木和英
	「教科内容の厳選と基礎・基本」全課題徹底理解	河野重男・宮原修
	教課審「中間まとめ」全課題徹底理解	河野重男
教職研修	教師の学び合いが生まれる校内研修	堀井啓幸・黒羽正見
	自主・自立を支える指導・研修体制	高倉翔
	新教育職員免許法と教員養成・研修	小尾帋雄・市川昭午
	学級づくりを極める40のコツ	諸富祥彦・浅井好
	指導力不足教員への経営戦略	八尾坂修
	情報化時代に求められる資質・能力と指導	河野重男
	指導観の転換	新井郁男
	価値観多様化時代のリーダーシップ	小島弘道
	変化の時代の教師像	菱村幸彦

—ご利用にあたって—

- ・当研究所の図書は、島尻管内の教職員であれば簡単な手続きでどなたでもご利用になれます。
- ・貸出期間は、一ヶ月間です。必要があれば貸出期間の延長もできます。
- ・一回の貸出期間は三ヶ月を限度とします。
- ・貸出時間は平日の午前九時から午後五時までです。返却もこの時間をお願いします。
- ・貸出を希望する場合は「図書貸出名簿」に書名、氏名、連絡先、返却予定日などを記入します。
- ・貸出した図書が早急に必要となった場合は、貸出期間内であっても返却を求める場合があります。
- ・図書を破損、紛失した場合は、原則として弁償となりますのでご注意ください。

島尻教育研究所逍遙歌



島尻教育研究所逍遙歌

作詞 宮城恒彦
作曲 親泊明美

一 報得の流にゆるやかに
朝陽に映ゆるまびの原
指導の道を究めんと
集いしわれら意気高し

二 辿る道程 厳しけど
友の情に 涙して
明日に 灯ともさんと
語る仲間の 声やさし

三 遙かに望む 八重瀬岳
うつろふ雲は 綾なして
ぬぐうへ急ぐ 群れ鳥に
光ほのかな 宵の星

〒901-0401 沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平965番地
TEL 098-998-9561 FAX 098-998-9420
E-mail simaken1@southernx.ne.jp
simaken2@southernx.ne.jp